

2020年5月18日

各 位

会社名 シダックス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 志太 勤一
 (JASDAQ コード番号 4837)
 問合せ先 取締役執行役員兼グループ経営管理副本部長
 山本 大介
 (TEL. 03-5784-8909)

特別損失の計上及び通期個別業績と前期個別実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期において、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、通期個別業績と前期個別実績値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 投資有価証券評価損の計上について (連結・個別)

2020年3月期において、当社が保有する投資有価証券を「金融商品に関する会計基準」に基づき評価した結果、減損処理による投資有価証券評価損 311百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 減損損失の計上について (連結)

2020年3月期において、主に当社グループが保有する静岡県内のホテル、ワイナリー及びスポーツ施設等の用に供する固定資産並びにコントラクトフードサービス事業の用に供する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、210百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

2. 通期個別業績と前期個別実績値との差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前期実績(A)	7,485	1,332	△69	△2,708	△69.46
実績値(B)	5,662	△528	△2,126	△2,549	△63.94
増減額(B-A)	△1,822	△1,860	△2,057	158	
増減率(%)	△24.4	—	—	—	

3. 通期個別業績と前期個別実績値との差異の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、主に当社連結子会社からの配当収入が減少したことにより前期実績を下回る結果となりました。

当期純利益につきましては、前期実績並みの結果となりました。これは主にマイナス要因として上記配当収入の減少や、前期のカラオケ事業売却における最終費用として対象外店舗の閉鎖に関連して支払った立退料や、カラオケ事業の売却店舗に係る修繕補修工事費用等を計上した一方で、プラス要因として前期において 2018 年 6 月 27 日に開示しております『資本業務提携締結及び子会社の異動（持分譲渡）に関するお知らせ』（開示事項の経過）及び『資本業務提携締結に伴う債権譲渡に関するお知らせ』（開示事項の経過）並びに平成 31 年 3 月期業績予想及び配当予想に関するお知らせ』のとおり、当社の連結子会社であったシダックス・コミュニティー株式会社（以下「SC 社」という）の持分 81%及び当社が保有する SC 社への債権並びに当社が保有する当社の持分法適用関連会社であったシダックストラベラーズコミュニティー株式会社への債権を譲渡したことに伴い、特別損失の計上があったこと、及び当期において 2020 年 2 月 27 日に開示いたしました「株式会社アインホールディングスとの業務提携及び連結子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」並びに「特別利益の計上及び特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、シダックスアイ株式会社の持分 100%を譲渡したことに伴い特別利益を計上したことによります。

以 上